

いなむら稲村：の「い～なこの街」 11月

テーマ：尼崎の郷土画家 白髪一雄

月に1度、お届けしていますこのコーナー。

今回は、「尼崎の郷土画家 白髪一雄」と題しまして、尼崎出身の画家 白髪一雄さんについてお話ししていきたいと思います。

皆さん、白髪さんご存知でしょうか。白髪さんは、1924年（大正13年）に尼崎市西本町で呉服店の長男として生まれました。子どもの頃から絵を描くことが大好きだったそうで、お父さんが趣味で描いていた洋画に関心を持つようになったそうです。兵庫県立尼崎中学校、これは今の県立尼崎高等学校なんですけれども、そこに在学中に絵画部に入ったことが画家を目指すきっかけとなり、京都市立絵画専門学校、これは今の京都市立芸術大学になるんですけれども、そちらに進学をして日本画を学ばれました。

卒業後、洋画に転向されまして風景や人物画を描き始めたそうなんですけれども、既存の絵画に満足できなかった白髪さん、床に広げたキャンパスの上に絵の具を置いて、天井から吊るしたロープにつかまりながら縦横無尽に滑走するように足を滑らせて絵を描くというフット・ペインティングという独自の手法を編み出されました。このフット・ペインティングを用いて、これまでにない力強い躍動感のある絵画を描かれた、この白髪さん。これらの作品は国内外の美術館に収蔵されていますし、今なお多くの人々に感動を与えています。

芸術文化の発展に力を尽くしていただいた功績が認められ、これまでに尼崎市民芸術賞、兵庫県文化賞、文部大臣文化功労者表彰など、多数受賞をされています。皆さんも白髪さんのフット・ペインティングで書かれた絵をご覧になったことある方がいらっしゃると思うんですけれども、本当に凄い迫力で厚みがあると言いますかね。なんかこう立体的なというか、とにかくもうエネルギーが迸るような作品なんです。私も拝見した時には、なんかこう圧倒されるというか、でも凄いパワーをこの白髪さんの作品からいただくような、いつもそんな感じがしています。

残念ながら、白髪さんは2008年にご逝去されましたが、白髪さんの作品はほんとに現在も国内外で高く評価されています。昨年から今年にかけてニューヨークのグッゲンハイム美術館、またニューヨーク近代美術館で白髪さんの作品が展示される機会が増えるなど、海外でとりわけ注目が集まっています。

皆さんもよくご存知だと思うんですけれども、スターバックスコーヒーありますよね。このスターバックスコーヒーを運営しているスターバックスコーポレーションの会長兼社長兼最高経営責任者であるハワード・シュルツさんという方がいらっしゃるんですけれども、この方が白髪さんのファンなんだそうで、この方の専用オフィスには白髪さんの「臍脂（えんじ）」という作品が飾られているそうです。

また、今年の6月にフランスの美術品オークションハウス・クリスティーズで開催されたオークションで、白髪さんの代表作である水滸伝（すいこでん）シリーズの一作品が当初の予想価格の3倍、約2億1700万円で落札されるなど、非常に人気が高まっていることが伺えます。白髪さんの作品をあまり見たことが無いという方もいらっしゃるかも知れませんが、実はあましんアルカイックホールの第1緞帳（どんちょう）の図柄になっているのも「祝いの舞」という白髪さんの作品なんです。ああ、あれがという方もいらっしゃるかと思います。まあ是非多くの皆さんに白髪さんの作品に触れていただ

きたいなと思っています。

そこでこの11月1日に、こうした白髪さんの功績を称え、その画業を広く紹介することを目的といたしまして、尼崎市総合文化センターの4階に白髪一雄記念室を開設いたしました。収蔵する作品や資料は、尼崎市が所蔵する絵画や版画など約90点、さらに白髪さんの没後にご遺族から寄贈・寄託いただいた作品もございます。デッサン、スケッチブック、写真などの資料が約4000点もあるんですよ。記念室ではこれらの作品や資料の整理・調査を行いながら順次公開を行っていく予定です。

開室時間は午前10時から午後5時までとなっております。特に毎週の決まった定休日はありませんが、年末年始と作品を入替ながら色々なものを見ていただきたいと思いますので、そういった入れ替えなどを行うメンテナンス期間は閉室になります。是非、皆さん案内をチェックしていただければと思います。

観覧料は一般が200円、大学・高校生の方は100円、中学生以下の方は無料となっております。

ただし、総合文化センターが主催する美術展に入場された方は、その当日に限り入場無料で併せてこの記念室もご覧いただくことができます。詳しくは、尼崎市総合文化センタープレイガイド 電話番号06-6487-0806・06-6487-0806へお問い合わせいただきたいと思います。この記念室、フット・ペインティングを始められる前の貴重な作品も飾っておりますし、また資料も沢山公開をしていく予定ですので、地元の皆さんはもちろんのこと、こういった芸術・文化を勉強していらっしゃる学生さんですとか、そういった皆さんにも是非数多く、足を運んでいただきたいと思いますという風に思っております。

また、この記念室の開室に合わせて、12月1日までの開催になるんですけれども、総合文化センターにて、特別企画「白髪一雄記念室 開設記念展 白髪一雄 -描画の流儀-」が開催されております。この記念展では、白髪さんの作品を展示するのはもちろんのこと、画材道具など関係資料や再現されたアトリエなんかも展示をしまして、大変見ごたえのある展示になっております。特にこの特別展では、白髪さんのフット・ペインティングをはじめとする代表的な作品を見ていただけますので、皆さん是非お立ち寄りいただきたいと思います。

開催時間は午前10時から午後5時、入場料は一般500円、大学・高校生は300円、中学生以下は無料となっております。先ほどもご案内しましたとおり、こちらの特別展をご覧いただいた方は、記念室を合わせて無料で見ていただけるので、是非、皆さんセットでご覧いただきたいと思いますという風に思います。

さて、皆さん、最近、非常に朝晩も寒くなってきましたけれども、体調の方は大丈夫でしょうか。気をつけていただきたいと思います。こういった寒さが近づいてきますともうすぐクリスマスということになってきます。ちょっと今日のテーマの白髪さんの話からは外れてしまいますけれども、白髪一雄記念室のある総合文化センターに来ていただいた際には、是非、立ち寄っていただきたいと思いますのが、「あまらぶイルミネーション」です。昨年に引き続いて今年も開催をしています。

総合文化センターと都ホテルニューアルカイクの間にあるアルカイク広場で実施しています。約2万個のLED電球を使ったイルミネーションです。来年2月16日まで毎晩午後5時ごろから10時ごろまで点灯しています。

今年のクリスマスには、吹奏楽やマリimbaを演奏する「あまらぶクリスマスコンサート」を行ったり、中学生以下の子ども達にサンタクロースに扮した市職員有志がメイドイン尼崎の「タカオカチョコレート」をプレゼントしたりと様々なイベントを開催しました。

もちろん、去年は私もサンタに扮して参加をさせていただきました。寒い中でのイベントでしたけれども、子ども達の笑顔をたくさん見ることができて、心温まる一日だったことを覚えています。

今年のクリスマス企画はまだ検討中なんですけれども、昨年に負けない楽しい企画を考えていきたいと思っています。今後5年程度をかけた上で、このアルカニックエリアだけではなく、総合文化センターから中央公園を結ぶ空中回廊、そして阪神尼崎駅前にも広げて、光の回廊としてやっていきたいという夢があります。是非、こちらにも足を運んで、皆さん楽しんでいただければという風に思います。

それでは今回は、「尼崎の郷土画家 白髪一雄」と題しまして、尼崎出身の画家 白髪一雄さんについてお話をさせていただきました。

では皆さん、次回の放送もどうぞお楽しみに・・・。